

常総学院同窓会々報

発行/常総学院高等学校同窓会 編集/同窓会会報編集委員会
委員長/飯田晃久 印刷/株大鵬社



ご挨拶

常総学院高等学校同窓会 会長
飯田 晃久



新型コロナウイルスの拡大という、未曾有の状況のもと、同窓会会員の皆様に於かれましても、大変なご苦労をされておられることと案じております。疎むべきウイルスは私達の体を蝕むだけでなく、飲食業界はもとより多方面への経済的困窮、医療関係者の方々の弛まぬ努力の裏にある不休など、副次的にも私達の生活に甚大な影響を及ぼしました。そのような中でも、会員の皆様には同窓会活動への変わらぬご支援・ご協力を頂き、心より厚く御礼を申し上げます。

さて、常総学院は本年開校四十周年を迎えます。開校以来、様々な課題もありましたが、地域の皆様、学校関係者の皆様のお陰で歩みを止めることなくここまで来ることが出来ました。卒業生も二万五千人を超え、名実ともに「茨城に常総在り」と胸を張れる事は卒業生として大変誇らしく思います。

部活動に関しますとセンバツ高校野球での甲子園出場を皮切りに、女子バドミントン部ではダブルスがインターハイ準優勝の快挙、古豪の吹奏楽は勿論、チャリレーディング、

弓道部や競技かるた部の活躍も光りました。さらには卒業生の加納遼大さん、鬼澤朋美さんの東京オリンピック・パラリンピックでの活躍には本当に心が震え、甚く感動致しました。

学校教育については、休校や分散学習に伴うオンライン授業へ取り組むにあたり当初は設備面をはじめとした弊害がありました。ですが、数年前から先行して準備を行っていた環境構築が功を奏し滞ることなく授業を行う事が出来たと伺っております。

今後も『コロナ禍だからやむを得ず』ではなく、現代社会の多様な価値観に対応できる、柔軟で質の高い教育活動が実現され続ける事を期待しております。

また特に中学校では、SDGSへの取り組みも強化しており持続的な発展を題材とした教育活動の中で、JOSOスキルの育成に取り組んでおります。冒頭にも申し上げましたが、心が沈みがちな昨今の状況の中で、このような母校の取り組みは私達にとって大変励みになります。

四十年の間に、時代・環境・価値観など様々なものが絶えず変化して参りましたが、これからは更に激動の時代が訪れます。校内幹事を柱により良い学校運営を目指すべくこの先五十年、百年と生徒、教職員、地域の皆様と協力しながら持続可能な学校運営の一助になるべく責務を全うすることをここに誓い、ご挨拶とさせていただきます。

一同窓会活動報告

常総学院高等学校同窓会【公式】WEBサイト開設のお知らせ

常総学院高等学校同窓会

ホーム 同窓会 活動 常総学院 広報・その他 企業紹介 サービス

新着情報 お問い合わせ 個人情報保護方針 リンク

母校を誇る想いが
つなげる絆

常総学院高等学校同窓会のホームページです。
卒業生の方々に情報源として活用していただくことを目的としています。

昨年より準備をして参りました、同窓会ホームページが開設となりました。

今後はタイムリーに在校生の様子をはじめ、紙面ではお届け出来なかった映像や吹奏楽部の音源配信などコンテンツの拡充に努めます。

また、会員の皆様相互での活動をご支援できるようなサイト運営を目指して参ります。

ご意見ございましたら、ぜひお問合わせフォームより皆様のお声をお聞かせください。

可能な限り反映させていただきます！



<https://joso-dosokai.jp/>

活動報告がHP内でも確認可能になりました！

今年も当校に、学校教育の未来を担う若者たちが



教育実習に来てくれました！

期間は約3週間でしたが、涙あり笑顔あり、密度の濃い時間を過ごして頂きました。その一部をこちらでご紹介致します。

これまで、活動報告については総会での議事内容をもとに会報誌でご報告をして参りました。決算報告をはじめとした、活動報告もホームページ内でご覧いただけるようになりました。また寄贈報告や部活動の活動方向もタイムリーにご覧いただけるよう準備を進めております。同窓生の横と縦の繋がりの一助になればと、将来的にはオンラインショップでの物販や地域でご活躍されている同窓生の店舗紹介や、卒業生と同窓生を繋ぐ就活セミナーの主催なども検討しております。広告や協賛など、今まで以上に積極的に取り組んで参ります。卒業生の皆様、是非同窓会ホームページを都合よくご利用ください。校内幹事一同、皆様からのお問合わせ・ご質問をお待ちしております。

今期の教育実習の様子も掲載しております。実習生の皆様のご活躍、お祈り申し上げます。

図書館リニューアル



2021年より図書館のリニューアルに着手しております。什器の入れ替えとOAフロア化を行い、アクティブラーニング教室としても活用出来るように施工中です。窓側に自習スペースの拡張を行い、机と椅子をすべて新調します。“行きたくなるオシャレな図書館”をテーマに、生徒達が勉強に取り組みやすい環境を作り上げ、また書籍についても、小説、参考書、専門書をはじめ新書を随時入庫し書籍の入れ替えも行っております。学校にお越しの際には、是非お立ち寄りください。



卒業生



活躍する卒業生



一度きりの人生の中で

第二十八期生 横田 広克

二〇一九年四月一日、茨城県つくば市で「土地家屋調査士」として自らの事務所を立ち上げ「独立」という形で新しいスタートを切りました。この場をお借りして、ここまで多大なるサポートをしてくれた家族や友人、関わっていたいてくれる全ての方々、またこのような機会をくださった常総学院の先生方へ、心からの感謝を述べたいと思います。

ここでは、私自身が独立を志した当時から大切にしている、これからも大切にしたいと決めている二つの価値観の話を書きたいと思います。

◇自分にしかない価値を見つけ、とことん伸ばす。

なぜ「土地家屋調査士」という職業を志したのかという事を度々聞かれますが、この職業であれば、業務を通して自らの真価を発揮して人々に貢献することで自分自身の成し遂げたい未来を実現できるという確信を持たれたからです。不動産登記や土地の境界確定測量など、不動産建築業界で働く人とその顧客に対し法律的な側面からのサポートをする事が土地家屋調査士の主な業務です。全ての人の生活の礎となる「住環境」を安心できる形にして届ける手助けのできるこの仕事に大きな魅力と社会的存在意義を強く感じています。同時に、私の場合は高度専門職業人である士業として、考え方・知識力・技術力を徹底的に研ぎ、顧客に対し正しく貢献するという責任を果たすことこそが、自分にしか提供できない価値だと考えています。

◇本当に大切にしたいものを大切に生きる生き方を選択する。

どんな人でもそれぞれが大切にしたいと思う人やモノ、価値観や信条、成し遂げたい思いを持つていると思います。ですが壁にぶつかったり、他人から批判されたり、様々な障害や経験から無意識のうちに関心があるものに想いを対してフタをしてしまっている方も多いのではないのでしょうか。私自身も自分の感情や想いにフタをしていた時期が長くありました。ある方から『何の制限も無かったら、本当はどうしたいの?』と問われたときに全く答えが出てきませんでした。毎日その問いに対する答えを探すことで自分自身が本当に大切にしたい生き方が徐々に明確になつていきました。

『ビジネスでも、プライベートでも、自分の大切にしたいものを大切にできる才と徳のある人間になる。』これが私の答えであり、一度きりの人生でこれを全うする生き方を選択し続けていく決断をするところですが、自分自身が大切にしたい思いや、周囲の人の想いを大切にするという事に繋がっていくのではないかと考えています。

どの業界で生きる人にとっても『自分の真価はどこにあるのか』『一度きりの人生で自分が本当にしたい生き方はどこにあるのか』ということをぜひ考えてみて欲しいと思います。今回このメッセージを贈ることで一人でも多くの方のお役に立てることを願っております。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。



公認会計士になって

第十七期生 豊崎 孝浩

常総学院中学校第一期、高等学校第十七期卒業の豊崎孝浩と申します。

私は卒業後一橋大学商学部に進学し、大卒後監査法人トーマツ東京事務所所属約九年間、主に上場企業の会計監査を担当し、この間、公認会計士資格を取得しました。会計監査はその企業の取引実態を把握する必要があり、上場企業

役員との討論や工場見学などで、様々な企業の内部事情など通常見聞きできないことを知り、知的好奇心を満たすことができました。また、海外の経営者や監査人との英語での仕事でやりがいを感じつつも、時には企業内で著名なアーティストに遭遇するなど楽しい時間もありました。

その後東京の税理士事務所系コンサルティング会社に約一年勤務後、つくば市にて豊崎公認会計士事務所を開業しました。現在では茨城県地元企業の税務、監査業務、東京の企業の会計系コンサルティング、財務調査、株価評価等を行っています。開業後の仕事は主に地元企業の経営者に対し、経理、会社内部管理体制等の指導や、税務代行を行っています。自らの事務所経営や採用等を行う立場となり、今までは異なる苦労もありますが、地元企業の経営者に寄り添い、専門家として相談に乗ることで地元貢献を実感し、充実しています。

私が公認会計士を目指したきっかけは高校一年の時、理系か文系かを選択する際、教室にあつた進路、職業の本を見て、公認会計士という仕事を知りました。公認会計士は会計専門家として財務情報に保証を与える、重要な経済インフラとして意義のある職業で、自分の得意な数字も扱うことができたため、公認会計士を目指しました。現在では、中学高校時代の友人から依頼を受ける機会もあり、常総学院が今に生きています。現在の充実した生活は常総学院での進路、学習、生活指導の結果であり、先生、学校関係者の方々には大変感謝しています。

この度は寄稿の機会、ありがとうございました。今後も常総学院卒業生の名に恥じぬよう精進したいと思います。

東京パラリンピックを終えて



富士通
陸上競技部
第三十二期生
鬼澤 朋美

私にとって初めてのパラリンピックは、これまでで一番辛い試合となりました。

走幅跳では5m以上の跳躍をしてメダル獲得、100mでは十五秒前半の走りをするのをそれぞれ目標としていましたが、どちらも叶いませんでした。

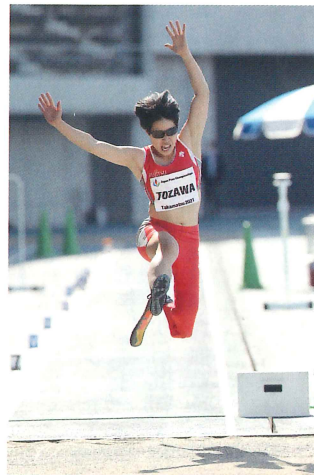
本番が近づくとつれて順調に調子は上がってきていて、走幅跳の練習の際も五m前後の跳躍が出来ていたことから、準備状況及びピーキングとしては概ね間違っていないかと感じます。

しかし、迎えた本番では、二本目まで連続で記録無しとなったことで、自身自身を追い込む形となってしまいました。原因としては、感触としてタータンが弾みやすいこともありましたが、一番は自分自身のメンタル面の弱さだと感じています。後半の試技も納得のいく跳躍とはほど遠く、重要な大会において練習通りの動きを体現する難しさを痛感しました。100mでは予選、決勝と二本走れたことは良かったですが、こちらも理想の走りとはなりませんでした。

ですが、自分がパラ陸上競技を始めるときつかけとなった夢の舞台、東京パラリンピックに出場し、パフォーマンスが出来たことはとても幸せなことであり、ここに辿り着くまでにサポート、応援して下さった全ての方々から感謝し

ています。

今大会が良い経験になった、と将来言えるようにまた次に向けて一つ一つ積み上げていきます。そしてパリパラリンピックのときこそは、「やりきった、出し切った」と思えるよう、引き続きトレーニングに励んでいきます。



沢山の出会いを振り返って

第三十五期生 及川 千翔

今までの活動

私は筑波大学新聞で記者として活動しています。筑波大学新聞は、筑波大やつくば市内のニュースを取り上げ、年七回、毎号二万二千部ほど発行する大学の広報紙です。

始めた理由は面白そうだったからです。ですが今は、新聞作りの魅力にどっぷりハマっています。「名刺一枚で誰にでも会える」とのキャッチコピー通り、記者をやっている人がいたら出会えなかったであろう様々な人と話せるのが楽しいです。取材を通して相手の考えに触れることもあり、一つひとつの言葉が新たな発見になります。

自分の手で世間に発信できるのも記者

活動の魅力です。イベントやスポーツの試合を取材することもあれば、自分たちでテーマを決めて特集を組むこともあります。私はこれまでに、東京五輪や二〇二二年度に新設された筑波大総合学域群などの特集に関わってきました。

新聞作りは取材や記事の執筆以外にも、写真撮影や紙面の構成などやることが多く、時には体力的に辛くなることもあります。ですが、「良い記事を書いてくれてありがとう」という読者の言葉に疲れは吹き飛び、記者をやっている良かったやりがいを感じるのです。

常総学院在学中の思い出

常総学院の学校行事で思い出に残っているのは、なんといっても常友祭です。私が所属していたクラスでは、一年時にスノードーム作り体験、二年時にはカジノをしました。どうすればお客さんと呼ばび込めるか、楽しんでもらえるか、教室はどんな装飾がいいか。クラスメイトと話し合いながら、普段より遅くまで学校に残って作業するのが楽しみでした。

そして、私の高校生活は常に勉強と共にありました。どの教科も同じくらいの実力のライバルがいました。一年時はあまり仲が良くなく、時には険悪な雰囲気すらありました。二年生でお互いがそれぞれ別の友人と違うクラスになるなど環境の変化もあり、よく話すように。受験期には彼女や他のクラスメイトと休み時間問題を出し合うこともありました。振り返ると、私が学力を伸ばせたのは彼女の存在が大きかったと感じます。

在校生に向けて

私には高校時代も今も、尊敬する人



が周囲にたくさんいました。今でいえばリーダーシップを取るのが上手い人、取材や記事の執筆が上手い人、険悪になりかけた編集室の空気を明るくできる人。この人をこの部分を真似したいと思える人がたくさんいれば、自分の足元を見ずに頑張れます。人との出会いは世界を広げ、自分を見つめ直すきっかけをくれると、今までの経験から感じています。

また、いつどこで自分の興味を惹きつけるものに出会うか分かりません。私自身も、大学で新聞作りをするなんて思ってもみませんでした。まだやりたいことを見つけていない人も、興味の赴くままにまずはやってみてほしいです。やってみたら意外と面白く思うかもしれませんし、自分に合わないと思えばそれはそれで収穫だと思います。

人やものとの一つひとつの出会いを大切に、それらとの関わり合いを通して自分を見つけていってください。

バドミントン部



祝 全国高等学校総合体育大会 準優勝

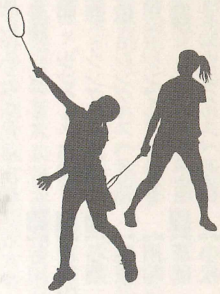
古茂田 倭子

今年八月、私にとって最初で最後のインターハイはダブルスで準優勝することができました。

私は、このインターハイで日本一という目標を達成するための「思い」は誰にも負けない自信がありました。家族をはじめ、先生や仲間、そしてパートナーに対して感謝の気持ちを一球一球に込め、試合の結果で応えたい気持ちがとても強かったです。その為に今できることは何か自分で考え、自分から辛い練習でも取り込むことができました。

また、試合でも自信を持ち、思い切ったプレーができました。全国選抜大会ではベスト8だった為、準決勝と決勝はチャレンジャーの気持ちで相手に向かっていきましました。目標にしていた日本一にはあと一歩届きませんでした。初めて全国大会の決勝の舞台に立つことができ、支えてくれた方々へ感謝しています。

大学では、絶対に日本一になります！



石橋 結子

私は、高校最後に全国高等学校総合体育大会という全国の舞台で、小学三年生の頃から組んできたパートナーと共に準優勝という結果を残せた事を誇りに思います。

また、こうして全国の舞台に立つことができたのは、家族をはじめ、熱心に指導して下さった先生方、共に励まし合い、辛い練習も乗り越えてきた最高の仲間、そして、多くの人の支えがあったからだと思えます。私はこの恵まれた環境の中でバドミントンができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の大会は無観客の中で行われましたが、コロナも吹き飛ばす勢いで、初戦から自分たちの攻撃型の形を作り、相手に攻めさせずにベスト4まで勝ち上がることができました。また、準決勝、決勝とパートナーと「楽しもう」という話をし、最後まで楽しんで戦い抜くことができました。

次の舞台では、この悔しい思いを胸に「日本一」を目指して、日々努力していきます。



部活動活動実績

硬式野球部

- 第93回関東選抜高等学校野球大会 ベスト16
第73回春季関東地区高等学校野球茨城県大会 優勝
第73回春季関東地区高等学校野球大会 ベスト4
第103回全国高等学校野球選手権茨城大会 準優勝

男子バドミントン部

- 第67回関東高等学校バドミントン大会 茨城県予選会
全国高等学校バドミントン選手権大会茨城県南予選会
団体 準優勝 (関東大会出場)
団体 準優勝 (関東大会へ推薦出場)

関東高等学校バドミントン大会

- 団体 ベスト8
全国高等学校総合体育大会バドミントン競技茨城県予選会
団体 準優勝

- ダブルス ベスト32
新人バドミントン大会県南地区予選会
団体 県大会へ推薦出場

- 茨城県バドミントン新人大会
団体 優勝 (関東選抜大会出場)

女子バドミントン部

- 第67回関東高等学校バドミントン大会 茨城県予選会
全国高等学校バドミントン選手権大会茨城県南予選会
団体 優勝 (関東大会出場)

- 関東高等学校バドミントン大会
団体 優勝 (2大会連続10回目)
全国高等学校総合体育大会バドミントン競技茨城県予選会
団体 優勝 (インターハイ出場)

- 第76回国民体育大会関東ブロック大会バドミントン競技
Aブロック 2位

- 全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技大会
団体 ベスト16

- 第26回全国私立高等学校選抜バドミントン大会
団体 27位

- 新人バドミントン大会県南地区予選会
団体 県大会へ推薦出場

- 関東高等学校選抜バドミントン競技大会
ダブルス 出場 シングルス 出場
シングルス ベスト16 出場

水泳部

- 第44回茨城県高校春季水泳競技大会
100m平泳ぎ 1位 赤川 遥華
200m平泳ぎ 2位 赤川 遥華
50m自由形 2位 井上 輝星
100m自由形 3位 井上 輝星
200m自由形 7位 井上 輝星

【根本 遼平】 【吉田 瑞稀】 【小堀 善平】 【鈴木 優馬】 【川崎 太陽】 【谷口 空大】 【渡辺 凱斗】 【平尾 海人】 【菅原 亮太】 【吉田 亮太】 【菅原 玲】 【永松 未侑】 【林崎 暖】 【斎藤 海音】 【新岡 芽依】 【谷川 莉奈】 【嘉奈子】 【鳴原 結子】 【石橋 結子】 【古茂田 優子】 【川和 芽衣】 【菅間 優衣】 【小松 杏】 【菅原 玲】 【菅原 玲】 【菅原 玲】 【菅原 玲】

男子4×500mメドレーリレー 1位 副
 ※茨城県高校新記録【出沼・金井・中田・伊藤】
 男子総合 優勝
 女子総合 優勝
 第57回茨城県民総合体育大会水泳競技大会
 副：大会新記録

男子4×500mメドレーリレー	1位	副	【赤川 遥華】
1000m平泳ぎ	1位	【赤川 遥華】	
2000m平泳ぎ	1位	【赤川 遥華】	
500m自由形	1位	【忍田 尊】	
2000m自由形	2位	【井上 輝星】	
1000m自由形	7位	【井上 輝星】	
2000mバタフライ	4位	【広瀬 心優】	
1000mバタフライ	5位	【広瀬 心優】	
1000mバタフライ	3位	【芹澤 豪勇】	
2000m自由形	5位	【芹澤 豪勇】	
500m自由形	2位	【鵜飼 真央】	
1000m自由形	3位	【鵜飼 真央】	
4000m個人メドレー	1位	【河野 陽菜】	
2000m個人メドレー	2位	【河野 陽菜】	
1000mバタフライ	1位	【宮岡 萌衣】	
2000mバタフライ	1位	【宮岡 萌衣】	
4000m個人メドレー	4位	【武田 那名】	
500m自由形	5位	【武田 那名】	
1000m自由形	3位	【伊藤 蓮】	
1000m平泳ぎ	4位	【伊藤 蓮】	
2000m平泳ぎ	1位	【金井 洋輝】	
1000m背泳ぎ	2位	【金井 洋輝】	
2000m背泳ぎ	1位	【出沼 尚也】	
1000mバタフライ	1位	【中田 有友】	
2000mバタフライ	1位	【中田 有友】	
2000m背泳ぎ	1位	【大谷 勇陽】	
1000m背泳ぎ	3位	【大谷 勇陽】	
500m自由形	1位	【川上 諒子】	
1000m自由形	5位	【川上 諒子】	
1000m自由形	4位	【阿部 日奈多】	
1000m背泳ぎ	6位	【阿部 日奈多】	
2000m個人メドレー	1位	【右色 琉倭】	
1000m平泳ぎ	2位	【右色 琉倭】	
500m自由形	3位	【久保田 萌生】	
1000mバタフライ	4位	【久保田 萌生】	
2000m背泳ぎ	6位	【久保田 耀介】	
2000m自由形	8位	【藤枝 謙】	
女子4×1000mフリーリレー	1位	【藤枝 謙】	
女子4×2000mフリーリレー	1位	【阿部・川上・宮岡・鵜飼】	
女子4×1000mメドレーリレー	1位	【鵜飼・河野・阿部・宮岡】	
男子4×1000mフリーリレー	1位	【阿部・河野・宮岡・鵜飼】	
男子4×1000mフリーリレー	1位	【中田・井上理高・井上輝・出沼】	

男子4×2000mフリーリレー 1位
 【芹澤・忍田・井上輝・出沼】
 男子4×1000mメドレーリレー 1位
 【出沼・金井・中田・伊藤】
 副：大会新記録

男子4×2000mフリーリレー	1位	【赤川 遥華】
1000m平泳ぎ	3位	【赤川 遥華】
2000m平泳ぎ	1位	【赤川 遥華】
500m自由形	1位	【副】
1000m自由形	1位	【副】
1000m自由形	6位	【井上 輝星】
2000m自由形	4位	【井上 輝星】
2000mバタフライ	5位	【広瀬 心優】
1000mバタフライ	6位	【広瀬 心優】
2000mバタフライ	2位	【芹澤 豪勇】
1000mバタフライ	2位	【芹澤 豪勇】
500m自由形	1位	【鵜飼 真央】
1000m自由形	1位	【鵜飼 真央】
2000mバタフライ	1位	【宮岡 萌衣】
1000m平泳ぎ	5位	【河野 陽菜】
1000mバタフライ	1位	【宮岡 萌衣】
2000mバタフライ	1位	【宮岡 萌衣】
4000m個人メドレー	6位	【武田 那名】
500m自由形	5位	【伊藤 蓮】
1000m自由形	1位	【伊藤 蓮】
1000m平泳ぎ	1位	【金井 洋輝】
1000m背泳ぎ	1位	【金井 洋輝】
2000m平泳ぎ	1位	【出沼 尚也】
2000m個人メドレー	6位	【出沼 尚也】
1000m背泳ぎ	1位	【中田 有友】
1000mバタフライ	1位	【中田 有友】
2000mバタフライ	1位	【大谷 勇陽】
1000m背泳ぎ	5位	【大谷 勇陽】
1000m自由形	3位	【川上 諒子】
2000m自由形	2位	【川上 諒子】
500m自由形	2位	【阿部 日奈多】
1000m自由形	2位	【阿部 日奈多】
2000m個人メドレー	5位	【右色 琉倭】
1000m平泳ぎ	6位	【右色 琉倭】
4000m個人メドレー	3位	【久保田 萌生】
8000m自由形	1位	【久保田 萌生】
2000m背泳ぎ	8位	【立花 敬太】
4000m個人メドレー	7位	【久保田 耀介】
女子4×2000mフリーリレー	1位	【久保田 耀介】
女子4×1000mメドレーリレー	1位	【鵜飼・赤川・阿部・宮岡】
男子4×1000mフリーリレー	1位	【阿部・赤川・宮岡・鵜飼】

男子4×1000mフリーリレー 1位
 【中田・芹澤・井上輝・忍田】
 男子4×2000mフリーリレー 1位
 【出沼・忍田・井上輝・忍田】
 男子4×1000mメドレーリレー 1位
 【出沼・金井・中田・忍田】
 副：大会新記録

男子4×1000mフリーリレー	1位	【赤川 遥華】
1000m平泳ぎ	出場	【赤川 遥華】
2000m平泳ぎ	出場	【赤川 遥華】
500m自由形	出場	【忍田 尊】
1000m自由形	4位	【忍田 尊】
2000m自由形	出場	【忍田 尊】
1000m自由形	出場	【忍田 尊】
2000mバタフライ	出場	【井上 輝星】
1000mバタフライ	出場	【井上 輝星】
2000mバタフライ	出場	【広瀬 心優】
1000mバタフライ	出場	【広瀬 心優】
2000mバタフライ	出場	【芹澤 豪勇】
1000mバタフライ	出場	【芹澤 豪勇】
500m自由形	出場	【鵜飼 真央】
1000m自由形	出場	【鵜飼 真央】
2000m平泳ぎ	出場	【河野 陽菜】
1000m平泳ぎ	出場	【河野 陽菜】
2000m平泳ぎ	出場	【宮岡 萌衣】
2000mバタフライ	7位	【宮岡 萌衣】
1000mバタフライ	出場	【宮岡 萌衣】
500m自由形	出場	【伊藤 蓮】
1000m自由形	出場	【伊藤 蓮】
1000m平泳ぎ	出場	【金井 洋輝】
2000m平泳ぎ	出場	【金井 洋輝】
2000m平泳ぎ	出場	【出沼 尚也】
2000m個人メドレー	出場	【出沼 尚也】
1000m背泳ぎ	出場	【中田 有友】
1000mバタフライ	出場	【中田 有友】
2000mバタフライ	出場	【大谷 勇陽】
1000m背泳ぎ	出場	【大谷 勇陽】
2000m自由形	出場	【川上 諒子】
1000m自由形	出場	【川上 諒子】
2000m自由形	出場	【阿部 日奈多】
2000m個人メドレー	出場	【阿部 日奈多】
1000m平泳ぎ	出場	【右色 琉倭】
4000m自由形	出場	【久保田 萌生】
8000m自由形	出場	【久保田 萌生】
2000m背泳ぎ	出場	【立花 敬太】
4000m個人メドレー	出場	【久保田 耀介】
全国高等学校総合体育大会水泳競技大会兼第89回日本高等学校選手権水泳競技大会	13位	【忍田 尊】
1000m自由形	出場	【忍田 尊】
500m自由形	出場	【赤川 遥華】

2000m平泳ぎ 出場 【赤川 遥華】
 1000m自由形 出場 【鵜飼 真央】
 2000mバタフライ 出場 【宮岡 萌衣】
 1000mバタフライ 出場 【宮岡 萌衣】
 第44回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会
 500m自由形 出場 【忍田 尊】
 1000m自由形 出場 【忍田 尊】
 1000m平泳ぎ 出場 【赤川 遥華】
 2000m平泳ぎ 出場 【赤川 遥華】

2000m平泳ぎ	出場	【赤川 遥華】
1000m自由形	出場	【鵜飼 真央】
2000mバタフライ	出場	【宮岡 萌衣】
1000mバタフライ	出場	【宮岡 萌衣】
男子4×1000mフリーリレー	出場	【伊藤 蓮】
1000mバタフライ	出場	【中田 有友】
2000mバタフライ	出場	【中田 有友】
500m自由形	出場	【川上 諒子】
1000m自由形	出場	【川上 諒子】
2000m自由形	出場	【阿部 日奈多】
女子4×1000mメドレーリレー	出場	【阿部・赤川・宮岡・鵜飼】
女子4×1000mフリーリレー	出場	【阿部・川上・宮岡・鵜飼】

剣道部

県南春季剣道大会	優勝	【岩崎 千夏】
女子団体	優勝	【黒澤 結衣子】
女子個人	準優勝	【矢萩 穂華】
女子個人	3位	【長谷川 結花】
女子個人	ベスト8	【齊藤 麗奈】
第54回茨城県高等学校剣道勝ち抜き大会	3位	
女子団体	3位	

弓道部

関東高等学校校弓道大会県南A地区予選会	2位	【巨泉 舞衣】
女子団体	2位	【塩山 榛菜】
女子個人	4位	【塩山 榛菜】
女子個人	4位	【塩山 榛菜】
第40回関東高等学校校弓道個人選手権選抜大会	5位	【中野 陽】
男子個人	個人戦出場	【松井 啓恭】

夏季テニス県南地区大会

Table with 2 columns: Rank and Name. Lists tennis players from various schools like 野口拓海, 遠藤拓海, etc.

新人テニス大会茨城県南地区予選大会

Table with 2 columns: Rank and Name. Lists tennis players from schools like 野口拓海, 吉村晟安, etc.

茨城県高等学校テニス新人選手権大会

Table with 2 columns: Rank and Name. Lists tennis players from schools like 手束優宏, 吉村晟安, etc.

男子バレーボール部

Table with 2 columns: Rank and Name. Lists volleyball players from schools like 手束優宏, 吉村晟安, etc.

女子バレーボール部

Table with 2 columns: Rank and Name. Lists volleyball players from schools like 吉田舞衣, 加藤舞衣, etc.

男子バスケットボール部

Table with 2 columns: Rank and Name. Lists basketball players from schools like 遠藤拓海, 吉田舞衣, etc.

女子バスケットボール部

Table with 2 columns: Rank and Name. Lists basketball players from schools like 遠藤拓海, 吉田舞衣, etc.

ラグビー部

全国高校ラグビー7人制大会茨城県予選 ベスト8

サッカー部

茨城県高校サッカー新人大会 出場
関東高等学校サッカー大会茨城県予選 ベスト16

陸上部

県南地区高等学校上競技大会

Table with 2 columns: Rank and Name. Lists track and field athletes from schools like 吉田巨希, 塚本匠, etc.

男子4x400mリレー 俊大
男子4x400mリレー 瑞樹
男子4x400mリレー 慶大

男子走高跳 優成
女子走高跳 瑞樹
男子走幅跳 俊大
女子走幅跳 瑞樹

女子400m 俊大
女子200m 瑞樹
女子100m 慶大

女子4x100mリレー 俊大
女子4x100mリレー 瑞樹
女子4x100mリレー 慶大

女子4x400mリレー 俊大
女子4x400mリレー 瑞樹
女子4x400mリレー 慶大

女子3000m 俊大
女子1500m 瑞樹
女子750m 慶大

女子3000m 俊大
女子1500m 瑞樹
女子750m 慶大

女子3000m 俊大
女子1500m 瑞樹
女子750m 慶大

女子3000m 俊大
女子1500m 瑞樹
女子750m 慶大

女子3000m 俊大
女子1500m 瑞樹
女子750m 慶大

女子3000m 俊大
女子1500m 瑞樹
女子750m 慶大

競技かるた部

第45回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首

吹奏楽部

第61回茨城県吹奏楽コンクール県南地区大会
第61回茨城県吹奏楽コンクール高等学校A部門
第27回東関東吹奏楽コンクール高等学校A部門

駅伝部

県南地区高等学校陸上競技大会
男子5000m 俊大
男子3000m 瑞樹

チアリーディング部

USA School & College Nationals 2021
高校編成 Showcheerleading-Movie部
Cheerleading グランプリ(総合1位)

美術部

土浦市展
奨励賞 芽笑
奨励賞 真央

写真部

茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会 写真展
茨城県教育長賞 優秀賞
茨城県教育長賞 優秀賞

演劇部

第35回県南A地区高等学校演劇祭
優良賞

書道部

茨城県高等学校総合文化祭

半紙の部

第62回全国書道展
入選 瑞樹
入選 知里
入選 有奈

推薦賞

推薦賞 芽笑
推薦賞 優美
推薦賞 瑞樹

奨励賞

奨励賞 芽笑
奨励賞 真央
奨励賞 瑞樹

優良賞

優良賞 芽笑
優良賞 真央
優良賞 瑞樹

入選

入選 芽笑
入選 真央
入選 瑞樹

入選

入選 芽笑
入選 真央
入選 瑞樹

入選

入選 芽笑
入選 真央
入選 瑞樹

入選

入選 芽笑
入選 真央
入選 瑞樹

入選

入選 芽笑
入選 真央
入選 瑞樹

進路指導室より

進路指導この一年

進路指導室長 菅谷 博之

2021年の大学入試は、新型コロナウイルスに翻弄された1年となりました。特に2021年春は、「大学入試改革」の年であり、英語の外部試験導入や、大学入学共通テストの記述式導入も予定されていましたが、結局土壇場で採用されず、蓋を開けて見るとこれまでの入試との大きな変更は見られない大学入試が行われました。

本校では、2020年3月に発出された、緊急事態宣言と全国一斉の臨時休校により、授業進度等も大きく影響を受けました。この休校により、高3生の進路指導のスタートが遅れ、例年行われていた茨城新聞社主催の水戸での「大学入試相談会」がコロナ感染予防のため中止となり、生徒と大学との接点は、学校案内のパンフレットやオンラインでのオープンキャンパスが主な情報源となってしまいました。部活動の各種大会、英語の各種検定試験も中止が相次ぎ、調査書の記載事項の軽減や校長の証明による代替、英語の検定試験の提出免除等の対応を急遽行う大学も見られ、実際の入学試験会場内も密を避ける異様なレイアウトの中で行われました。

この様な状況下でも第36期生は、最終的に国公立大学は100名を超える118名が合格、医学部医学科8名、早慶上理39名、G-MARCH67名、学年全体として四年制大学へ計1,014名の合格者を出すことができ、最終的な現役進学率も84.4%と例年とほぼ変わらない進学実績を残すことができました。第36期生の健闘を大きく評価したいと思います。詳細は、別表をご参照下さい。

(2021.10.20記)

進路指導課

進路指導課長 青柳隆雄(11期卒)

昨年度からの大学入試改革で、総合型選抜(旧AO入試)も、推薦選抜もスケジュールが大幅に変更になり、例年以上に忙しい進路指導になっています。また、新型コロナウイルス対策の影響を受けて、入試方法が直前に変更になるなど、生徒・教師共に臨機応変な対応が求められる受験になっています。

本年度も、2学期に入ってから2週間の休校がありました。しかし、受験生は先生方とオンラインで面談をしたり、メール添付で志望理由書や小論文を添削してもらったりと、文明の利器をフル活用して受験の準備をしているのを見て、改めて教育現場のICT化が進んでいるのを実感しました。今年の受験生も卒業後、母校を思い出すとき、異例づくめの大学入試とそれに対応してくださった先生方の努力を同時に思い出していただけたら幸いです。

同窓生1人1人に高校3年時があり、進路決定の瞬間があったと思います。何かの折に進路指導室を訪れて進路開拓の大変さやその後の人生について未来の在校生にお話ししていただけたらと思います。

キャリアデザイン課

キャリアデザイン課長 伊藤頭広

キャリアデザイン課では、大学進学を目的とし、①高校3年間の部活動や課外活動をも含めた広い意味での生徒の学力形成過程を定期的に振り返って、それを蓄積させる。②大学等から講師等を招いて大学での学びの情報を提供し(高大接続)、総合的な学力を身に付けさせ、その学力を内外に発信する活動を行っています。今年度も新型コロナウイルス流行の影響を受けましたが、以下のような活動を行って来ました。

①として、学期ごと(年3回)生徒にアンケートをとり、キャリアパスポートを作成させる。

②として、

- ・東京大学の授業にオンラインで参加。
- ・医師や大学教授を招いての進路講演会。
- ・茨城大学主催の学生国際会議への参加。

今後も、こうした活動を通じて自分で将来を設計(デザイン)できる生徒を育てていきたいと考えています。

四年制大学過去5年間(2017~2021)合格実績

2021年7月1日現在

■国公立大学

Table of university admission statistics for national/public universities from 2017 to 2021. Columns include university name, years 2017-2021, and total count.

Table of university admission statistics for national/public universities (continued) from 2017 to 2021.

■文科省管轄外大学校

Table of university admission statistics for non-Ministry of Education supervised universities from 2017 to 2021.

Summary table for national/public universities (国公立) and other categories.

■医学部医学科

【国公立大学】

Table of university admission statistics for medical departments in national/public universities from 2017 to 2021.

【私立大学】

Table of university admission statistics for medical departments in private universities from 2017 to 2021.

(医学部医学科合計)

Summary table for medical departments (total) from 2017 to 2021.

■私立大学

Table of university admission statistics for private universities from 2017 to 2021.

了

Table of university admission statistics for private universities (continued) from 2017 to 2021.

力

Table of university admission statistics for private universities (continued) from 2017 to 2021.

Table of university admission statistics for private universities from 2017 to 2021.

サ

Table of university admission statistics for private universities from 2017 to 2021.

夕

Table of university admission statistics for private universities from 2017 to 2021.

ナ

Table of university admission statistics for private universities from 2017 to 2021.

ハ

Table of university admission statistics for private universities from 2017 to 2021.

マ

Table of university admission statistics for private universities from 2017 to 2021.

ラ

Table of university admission statistics for private universities from 2017 to 2021.

ワ

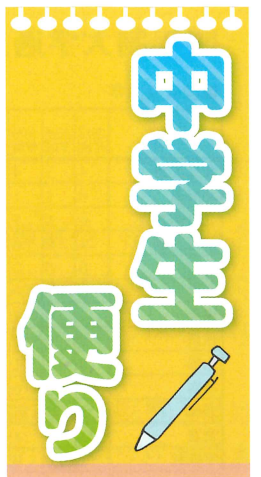
Table of university admission statistics for private universities from 2017 to 2021.

Summary table for private university admission statistics from 2017 to 2021.

(四年制大学合計)

Summary table for four-year university admission statistics from 2017 to 2021.

*掲載されておりますのは合格した大学の一部です。



『オンライン学習を経て』



1年2組 仲野 新大

私はオンライン学習を経て、画面越しの辛さを体験しました。授業の時間になるとGoogle Meetに集まって授業をするのですが、その後の休み時間などはなく、授業時でも話せるのはMeet内のチャットか、少しマイクで喋るくらいしか機会がありませんでした。もちろんMeetでの授業にもメリットがあつて、資料が早く届いたり提出したりできるので、先生方とのやりとりがスムーズになるなどの良い点がたくさんありました。ただ、やはり私は学校で授業を受ける方が好きだと感じました。理由は、初めに挙げた通り、人とのコミュニケーションが取りづらく、友達との会話が出来ないからです。学校生活で大切なのは、他者との

コミュニケーションだと自分は思っていて、それが薄れてしまうと他者との関係や、勉強の教え合いなど、いろいろな事が出来なくなるのではと私は考えています。また、グループワークという班の中での話し合いが、オンライン学習では一部の教科のみであつたため、それも寂しく感じる点でした。オンライン学習を経て、他者とのコミュニケーションや、対面での授業の大切さに、改めて気づかされました。そして、この体験を生かして今後の授業に臨んでいきたいです。

『常友祭での経験と今後』



1年4組 檀 菜月

私は、今回の常友祭でクラス企画のリーダーとして活動しました。私たち1学年は、各探究フィールドに分かれてグループを作り、「今、地球で解決しなければならぬ問題について」という事について調べ、発表しました。いつも一緒に活動しているクラスのみならずではなく、他クラスの人たちも一緒に、最初はお互いに話せなかつたりもしましたが、段々とお互いに支え合う仲間になれたと思います。私は、リーダーとして活動していて、う

まく話し合いを進められず、一つの議題について何回も話し合ってしまったり、みんなの意見を引き出しにくい雰囲気をつくってしまったりと、失敗した部分もたくさんありましたが、先生方の助言もあり最終的にみんなで力を合わせて完成させることができたので、良かったです。最初の方に時間を使いすぎてしまったせいか、最後の方にはかなり慌ただしい準備になつてしまったのですが、逆にこのことがより一層、みんなで協力し合い、最大限の力を出せたことに繋がったのかもしれない。

私が今回の経験を通して学んだことは、「二つの目標に向かつて、みんなで真剣に取り組むことで、うまくいくことや、失敗することもあるけれど、最終的にそれは何か意味のあることに変わる。」ということです。今回の常友祭で学んだことを忘れずに、また新たな何かに挑戦し、たくさん経験を得て、今後に生かしていきたいです。

『常友祭実行委員をやって学んだこと』

2年3組 池水 凛

私が常友祭実行委員をやって学んだことは、人の為に活動する大切さです。私は、本部企画のギネス班に所属していました。司会を任せられ、とても重要な役割に対して私にできるのか最初は不安でいっぱいでしたが、練習を重ねていく中で楽しくなつていき、安心して本番を迎えることが出来ました。

本題に入りますが、人の為に何かをするというのはとても大切なことだと思えます。なぜなら、人の為に何かを言い、その人が喜んでくれたら、自分

も良い気持ちになり、行動してよかったと思えるからです。私自身、人の為に行動するということを今までした事があませんでした。しかし、先輩たちが積極的に行動しているのを見て、このままではいけないと思いました。そこで今回、常友祭実行委員をやってみようと思いましたが、初めてのことで緊張しましたが、先輩が支えてくれたおかげで、想像したよりも上手く事を運べたかなと思います。今回実行委員をやってみて、少しは人の為に活動できたのではないかなと思います。来年は三年生で最高学年になるので、後輩にしっかりと教えられるようにしていきたいです。また、人のために活動する大切さも、後輩に教えてあげたいです。



『自分に自信を持つ』



2年3組 小林 真穂

私は、人前に出ることが好きです。しかし、小学生の時は人前に出ることが嫌いでした。中学生になってから、クラス委員長やクラス副委員長などに挑戦したことがきっかけで人前に出ることが好きになりました。

今回、私は常友祭で「私が思う自由な時間」について、スピーチをしました。自分の想いを話した後、すごく達成感を感じ、三位に選ばれたことを誇りに思いました。

皆さんは、挑戦をあきらめたことはありませんか。もし、あきらめた経験があるのであれば、次からは挑戦をしてみてください。もしかしたら、自分が成長できる絶好の機会かもしれません。また、皆さんは、友人や家族に想いを伝えたことはありませんか。恥ずかしがらないで人に想いを伝えてみてください。その勇氣によって、自分のことを知ってもらえると思います。そして、想いを伝えることが出来た時に、前向きな気持ちで自信を持った自分になれると思います。

『常友祭で学んだこと』



3年1組 関野 真穂

私は今年の常友祭を通して学んだことがあります。それは、「創造することの大切さと集団で目的を達成する喜び」です。他にも学んだことはたくさんありますが、主にこの二つに関して心に残っていることがあります。

一つ目は、想像することの大切さについてです。今年の常友祭はコロナ禍での開催となり、あまり前例がなく、一から自分たちで考えなければいけない場面が多くありました。そこでより良い常友祭にするために常総未来スキルにもある「創造力」が大切だということに気付くことができました。自分たちで創造し、何かをつくりあげることが今後の生活においても重要な事だと感じたので、この経験を大切にしていこうと思います。

二つ目は、達成する喜びについてです。私は今回の常友祭で、初めて実行委員長という立場に就きました。初めてのことばかりで不安や分からないことばかりでしたが、先生方や友達が助けてくれたおかげで常友祭を大成功させることができました。

『常友祭で大切に思ったこと』

3年4組 小川 美優

私は、今回の常友祭で大切に思ったことがあります。

できました。準備期間中は、学校全体が一つの目標に向かって行動しているということを感じ、とても感動しました。今回の常友祭ではこれまで経験することのなかった立場や体験を通し、様々な情に掉させば流される。智に働けば角がことを学べたので、今後これらのことを活かして過ごしていきたいです。

まず、私は常友祭実行委員の一員としてビンゴ班の企画長を務めました。今までにない初めての企画ということもあったので、どうしたら成功するかなど考えさせられました。今年は今までも準備期間が短かったため、最初は不安な気持ちでいっぱいでしたが、同じ企画班のメンバー、他企画班のメンバー、先生方が支えてくれたおかげで最後までやり遂げることができました。そして何より、同じ企画班のメンバーと最初から最後まで団結して仲良く活動できたことが、最後までやり遂げることができた理由だと思います。自分から話すのは苦手な私ですが周りのみんなと成功させようという気持ちでいっぱいだったので、最後には「楽しかった!」という感情が生まれたのだと思います。そして、他企画班のメンバーも同じ気持ちだったはずなんです。これこそが常友祭実行委員の絆、どこにも負けない常総学院の団結力だと感じました。最後に、今回の常友祭は、私が三年間実行委員をやってきて一番楽しかった常友

祭だと思いました。他学年とも交流でき、普段あまり話せない同級生ともコミュニケーションをとることが出来る場なので、本場に常友祭実行委員をやった良かったです。ずばり、一番大切なことはコミュニケーションをとることです。



『JAFを通して
学んだこと』

3年3組 大塚 千愛
3年4組 沖山 なな子

私たちは六月七日に例年の体育祭より規模を縮小したJAFを行いました。JAFでは四つの縦割りの班に分かれて活動をしました。

このJAFでは、先生方のサポートと団代表十六人を中心としながら最高のJAFをつくりあげることが出来ました。団代表はもちろん三年生だけではなく、一・二年生も私たちに協力をしてくれて、皆の思い出に残るものをつくりあげることができました。ピンク団は圧倒的な強さを見せつけ、団結を鍵に優勝を勝ち取り、青団は和気あいあいとした応援で団全体の雰囲気盛り上げ、緑団は様々な場面で三年生が最高学年として、団をリードし準優勝をとることができま

した。それぞれの団が様々な色を見せ、輝いていたと思います。

私はこのJAFを終え、もともと他学年との関わりがそこまでなかったため、最初は全体に指示を通すのは大変でしたが、先生方のおかげもあり、回数を重ねてくごとに団全体への指示が出しやすくなりました。結果としてはとても良いものをつくりあげることが出来ました。(大塚)

私は準優勝をして皆が喜んだ瞬間、今まで緑団の団代表四人と準備をしてきてよかったと思えました。(沖山)

私たちはJAFを通して団結をし、一つのものをつくる楽しさ、つくりあげた時の達成感、何か一つのものに向かって全力で取り組むことの大切さを学ぶことができました。そして、この会報誌を二人の手で書いたことで改めて、この大切さに気づけました。JAFで学んだことは必ずこれからの活動に活かしていきたいです。



同窓会からの大会出場補助活動報告

チアリーディング部の関東大会出場にあたり、同窓会より大会出場補助を致しました。補助金を利用し、外部講師を招き練習に取り組んだと聞いております。

部員たちの努力の結果、USA School&College Nationals 2021 において見事グランプリを獲得し全国一位となりました。おめでとうございます。

関東大会以上への出場については出来る限りの補助を今後行って参ります。練習場所や時間など制約も多い昨今ではありますが生徒の皆さん、頑張ってください!



令和3年度 常総学院高等学校同窓会役員

Table of officers for the 2021 fiscal year, listing roles (e.g., 会長, 副会長), graduation years (期卒業), and names (氏名).

令和3年度 常総学院高等学校同窓会予算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)

Income Budget Table (収入の部) showing items like 会費 (Fees) and 雑収入 (Miscellaneous Income) with budgeted and previous year amounts.

Expenditure Budget Table (支出の部) showing items like 消耗品費 (Consumables) and 雑費 (Miscellaneous Expenses) with budgeted and previous year amounts.

※項目間の彼此流用することができる。

令和3年度予算について

令和3年度予算は、令和3年度の事業計画と令和2年の収支実績を勘案して編成いたしました。

- 1. 収入の部: 卒業生の入会金、会費625名、会員年会費50名を収納予定額として計上いたしました。
2. 支出の部: 令和3年度事業計画に基づき予算を編成いたしました。悪質な電話(勧誘)にご注意...

令和3年度 常総学院高等学校同窓会会務分担表

Large table detailing the division of duties (会務分担表) among officers and staff, including roles like 総務, 経理, 会報, and 監事, along with specific tasks and names.

令和3年度 常総学院高等学校同窓会事業(案)

- 令和3年 4月 10日 第23回進級式・第39回入学式(入学生へ生徒手帳)
12日 第26回中学校入学式(入学生へ生徒手帳)
5月 24日 男性バドミントン部 令和3年度関東高等学校バドミントン大会兼第67回関東高等学校バドミントン選手権大会出場補助...

職業観とともに、
論理的思考力とプレゼン能力を
育てている学校なんです

探究フィールド制での活動や1分間スピーチなどなど、
いろんな経験ができます

入学してからの成績の伸びが
すごい学校なんです

サンデー毎日 2021年10月3日号掲載
「289学習塾アンケート 首都圏オススメ私立中学ランキング」より
生徒や保護者に勧めたい **1位**
入学時偏差値に比べ、大学合格実績が高い **2位**
面倒見が良い **2位**
オンライン授業で生徒・保護者からの高評価を得た **4位**
生徒や保護者の入学後の満足度が高い **5位**
グローバル教育に力を入れている **8位**

外国人教員による
生きた英語教育を
行っている学校なんです

英検準2級が中学3年生の**74.5%合格**
(令和元年度終了時点)しています

通学範囲が広い学校なんです

柏駅から荒川沖駅まで&南流山駅からつくば駅まで
約**30分**で到着します
茨城の県西地区や石岡・稲敷方面など11方面に
スクールバスが出ています

常総学院中学校

Joso Gakuin Junior High School 2022

中高一貫教育

- 医学探究フィールド
Medical Investigation Field
- 科学探究フィールド
Science Investigation Field
- 人文探究フィールド
Human Investigation Field

詳しくは、ホームページにてご確認ください。

常総学院

<https://www.joso.ac.jp>

〒300-0849 茨城県土浦市中村西根 1010 番地 TEL 029-842-0708(代) URL <https://www.joso.ac.jp/junior>

常総学院高等学校

CHALLENGE JOSO!

- 特進選抜コース**
Ex(エクセレント)クラス
東京大学ならびに医学部医学科、および早慶上智などの超難関大学合格を目指します。
- 特進選抜コース**
旧帝大をはじめとする難関国公立大学への合格を目指します。
- 進路選抜コース(プロGRESS)**
GTMARCHなどの難関私立大学や国公立大学への合格を目指します。
- 進路選抜コース(フロンティア)**
有名大学への進学を目指します。

一人ひとりの目標に応える
魅力的なコース制

◆お問い合わせ◆ **TEL:029-842-8771(代)**
(入試広報部) 〒300-0849 茨城県土浦市中村西根 1010 番地
URL <https://www.joso.ac.jp/>

編集後記

常総学院高等学校は、今年度創立三十九年目、常総学院中学校は創立二十六年目を迎えました。同窓生の皆様におかれましては、依然続くコロナ禍ではありますが、お元気に過ごされていますでしょうか。

この度会報誌編集後記を十年ぶりに担当するにあたり、折角の機会ですので、会報誌作成の流れや同窓会HP立ち上げの意図をご紹介します。同窓会幹事を中心に、常総学院中高の在校生・教職員の皆様のご協力を頂いております。また、近年は会報誌の改編内容として、卒業生の活躍も取り入れており、同窓生の方々からの寄稿文も記載することができております。編集委員を代表致しましてこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、会報誌は年度の始めに校内幹事で集まり、会報誌編集会議を開いています。恥ずかしくも私は、十三年前に常総学院の教員として採用して頂いたにも関わらず、三年前まで会報誌編集の協力をほとんどせず、たまに輪番で回って

くる編集後記を作る程度に、のほほんと他人事のように過ごしてまいりました。しかし、三年前の編集会議で、会議への欠席者である私をその年度の統括に抜擢して頂いたことをきっかけに、この三年間は継続して会報誌の編集責任者を務めさせて頂き、徐々に同窓会誌に関する情報や知識を得ただけでなく、飯田会長を始め、本部役員の方々とも知り合いになることができました。

そんな三年間の中で、果たして同窓会とは何のためにあるか、どうあるべきかを意見交換させて頂く機会が複数回あり、温故知新に見習い、歴史ある会報誌の作成だけでなく、近年の同窓会の母校に向けたコロナ対策支援や、土浦ライオンズクラブ・母校JRC部との協賛の上で実現した貧困国への物資支援活動などを通して、母校の教育理念である地域貢献・社会貢献を同窓会活動として実現することができました。今では一人の同窓生として、同窓会活動に関われることに、大変感謝している次第です。

少し話が進きましたが、会報誌の原稿を各所の方々から頂き、年度末にかけて大鵬社様と複数回の打ち合わせの上で、紙面作成に至っております。全同窓生の皆様のお手元に会報誌をお届けしたいとは思いますが、住所や連絡先の更新を同窓会本部が把握していない場合は、郵送した会報誌が残念ながら返送されてしまうことも多くある状況もあり、誰でも閲覧できるホームページを作成するに至りました。また、本校同窓生は既に二万人近くの規模となっております。今後の社会において大変価値のある人との『繋がり』を、新しく張り巡らせたいものとするきつかけに同窓会HPを利用して頂けたら本望です。

同窓生の方々の中で、会報誌への寄稿や編集、ホームページの運営を始め、同窓会として実現できる諸活動に対しご興味ある方がいらっしゃいましたら、ぜひともご協力頂きますと幸いです。同窓会だけでなく、同窓会同士でのちよつとした会食の記録や情報でも構いません。ぜひご寄稿ください。その際は、同窓会事務局(029-842-8771)もしくは、常総学院同窓会HPの問い合わせ窓口までメールを頂きますようお願い致します。編集後記とはいえ、長文となり失礼致しました。最後に、今後の皆様の益々の御活躍を祈願し、後記とさせていただきます。

同窓会会報誌編集統括 谷川 義宣
編集委員一同